

知ってほしい 統合失調症のこと

100人に1人くらいがかかる身近な病気です。

若い人が発症しやすい病気です。

発症は、思春期から青年期という10歳代後半から30歳代にピークがあります。

病気の原因はまだはっきりとは分かりません。

ドーパミンなど脳内の神経伝達物質の調節の不具合が関係しているといわれています。

性格や育て方の問題が直接の原因ではありません。

早期発見・早期治療が大切です。

幻覚や妄想は本人にとって現実味があり、病気の症状だとは気づきにくいいため、身近な人の気づきが早期治療につながる第一歩になります。

症状が現れてから治療が開始されるまでの期間が短いと、その後の経過が良いと報告があります。

根気よく治療を続けることが大切です。

近年では治療は大きく進歩していますが、長期にわたる薬物療法やリハビリなどを続ける必要があります。症状が良くなったからといって、自分だけの判断で治療をやめてしまうと、再発してしまうことが多いので、薬の調整などは必ず医師と相談しましょう。

また周囲の理解やサポートが回復の助けになります。

統合失調症などの精神疾患や、 こころの健康に関する相談先

医療機関への受診や福祉サービスの利用などについて、ご本人やご家族、周囲の方の相談をお受けしています。

お住まいの地域の相談先で、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療(精神通院医療)に関する相談も可能です。

お住まいの地域の相談先

月～金曜日(祝日・年末年始を除く)
午前8時30分～正午、午後1時～午後5時

| | |
|--------------|---------------|
| 緑高齢・障害者相談課 | ☎042-775-8811 |
| 津久井高齢・障害者相談課 | ☎042-780-1412 |
| 中央高齢・障害者相談課 | ☎042-769-9806 |
| 南高齢・障害者相談課 | ☎042-701-7715 |

こころのホットライン(市自殺予防電話相談)

毎日(年末年始を除く)
午後5時～午後10時(受付は午後9時30分まで)
☎042-769-9819

こころの健康に関する情報

リブちゃんネル

(市自殺対策ホームページ)
こころの健康や相談窓口などの情報を掲載



みんなのメンタルヘルス総合サイト

(厚生労働省)
こころの健康や病気・支援やサービスに関するウェブサイト



ご存じですか?

統合失調症

について



相模原市さがみはら

相模原市精神保健福祉センター

令和4年11月発行

相模原市

「統合失調症」とは

- 統合失調症は脳の様々な働きの不調を起こす病気ですが、適切な治療により回復可能な病気です。
- 「感覚・思考・行動が病気のために変化している」ことを自覚しにくく、家庭や社会での生活に支障が出るという特徴をあわせもっています。

統合失調症の症状

✿ 幻覚・妄想

幻覚とは、実際にはないものが感覚として感じることで、批判的なものや、命令されるような声（幻聴）を体験していることが多いです。

妄想とは、頭に浮かぶ考えや想像が現実と区別できずに事実として確信してしまい、周囲が説明しても修正できない症状です。

そのため、幻覚や妄想にしたがった行動をしてしまうことがあります。

幻覚や妄想のような体験が病気による症状である理解（病識）ができず、治療を受けるまでに時間がかかってしまう場合があります。

✿ 生活のしづらさ

日常生活や社会生活において適切な会話や行動、作業がしにくくなる場合があります。

周囲から「社会性がない」「怠けている」など誤解されることがありますが、病状によって生活がしづらくなっていることへの理解と配慮が必要です。

周囲の人にもわかる統合失調症のサイン

✿ 幻覚や妄想のサイン

- ・ いつも不安そうで緊張している
- ・ 監視や盗聴を受けていると言うので調べたが、何も見つけられない
- ・ 他者の言動を必要以上に警戒するようになる
- ・ 事実にはないようなことを考えたり話したりする
- ・ ひとり言やひとり笑いが多くなる
- ・ 命令する声が聞こえると言う

✿ 生活のしづらさのサイン

- ・ 話にまとまりがなく、何が言いたいかわからない
- ・ 集中できず作業のミスがふえる
- ・ 趣味や楽しみにしていたことに興味を示さなくなった
- ・ 人づきあいを避けて引きこもる
- ・ 何もせずにぼんやりしている
- ・ 身の回りのことに無頓着になる、身だしなみが乱れる
- ・ いきいきとした感情表現がみられなくなる
- ・ 他人の気持ちに無頓着になる

統合失調症の治療

薬をつかった治療（薬物療法）と、専門家と話をしたりリハビリテーションを行う治療（心理社会療法）を組み合わせで行います。

治療の目標は・・・

- ・ 幻覚や妄想などの症状を軽くする
- ・ 記憶や注意などの障害によって社会生活機能が低下するのを防ぐ
- ・ 回復する力、ストレスへの抵抗力を高める
- ・ 回復後は再発しないように維持する

適切な治療やサポートを受けることができれば・・・

- ・ 症状が悪化しても、早い回復が期待できる
- ・ 勉強や就労の中断を避けることができる
- ・ 家族や友人との人間関係の悪化を避けることができる